



とびら

第21号

2019.11



親子議場見学会

【主な内容】

- ・平成30年度決算を審査
- ・突撃インタビュー

2ページ
13ページ

予算決算常任委員会

― 検証・検討により見極めを―

「平成」から「令和」に代わり、初めての予算決算常任委員会の認定となりました。

毎年言われておりますように、人口は減少傾向をたどり、町税全体においても減収傾向であります。

また、地方交付税においても合併算定替による特例措置が、段階的に縮減され、今後も厳しい財政運営が続くものと懸念されます。

このような中、町の厳しい財政状況を十分に見極めたうえで、町総合計画に掲げる「まちづくり」を遂行していくためにも、事業効果の検証と事業継続の判断を慎重に行い、健全で安定した財政運営を図り、来年度の予算編成につなげていくように町に求めました。

9月定例会議最終日には決算にかかる認定8件と議案1件を全会一致で認定・可決しました。



決算に対する報告書を提出
9月定例会議最終日

30年度決算

一般会計

歳入	
町税	16億7776万円
国からの交付金	60億2949万円
県からの交付金	7億6057万円
その他収入	12億7322万円
町債	5億7794万円
合計	103億1898万円

歳出	
議会費	1億198万円
総務費	13億5108万円
民生・衛生費	31億8557万円
労働・商工費	2億9971万円
農林・土木費	24億9338万円
消防費	2億9070万円
教育費	10億4437万円
その他	14億4047万円
合計	102億726万円

特別会計

特別会計	歳入	歳出
後期高齢者医療	2億4438万円	2億4422万円
介護保険	22億2489万円	22億2461万円
国民健康保険	19億3572万円	19億3096万円
下水道事業	20億4201万円	17億9012万円
分譲宅地造成事業	1億612万円	1億612万円
ケーブルテレビ事業	1億2024万円	1億2022万円

水道企業会計	収入	支出
収益的収支	4億4281万円	4億4778万円
資本的収支	2億1179万円	3億7784万円



委員からの主な質疑と町からの答弁

■健康ハウス憩の運営事業



林委員質疑：平成30年度より利用者数が減少している。利用者増を図る上で、営業時間の見直しを考えられないか。

住民福祉課答弁：行財政改革、経費削減という観点から、施設利用者、それに係る経費などを検討した結果の営業時間です。現在は指定管理者、社会福祉協議会に委託しています。来年度に向けて社会福祉協議会と相談し、現状を把握しながら検討していく。

■イセヒカリ推進事業



甲部委員質疑：取組み内容と活用目標について伺う。

農林課答弁：学校給食への提供、合格祈願米を中能登中学校の生徒に配布し、伊勢神宮奉納等による周知活動を行っている。試験的に日本酒の醸造を考えており、お酒をきっかけに町独自の特産米としてPRしていければと考えている。

■魅力ある園芸品目育成事業



土本委員質疑：事業評価が縮小となる魅力ある園芸品目や能登白ねぎ作付推進事業について伺う。

農林課答弁：道の駅も開業から5年以上経過し、農産物直売所の売上げも増加傾向にある。そのため、補助対象をカラー野菜などの種苗の購入に限定し、事業を縮小する。補助事業を農協指定の品目を出荷している農家について、補助事業として継続してきたが生産農家数や出荷量は減少傾向である。本事業がもたらす効果が薄いとして判断した。

■観光費 補助金



古玉委員質疑：観光協会がどのような活動をして、事業内容を把握しているうえで補助金を交付しているか伺う。また、大々的に観光を進めるような活動を促すべき。

企画課答弁：主な事業として、三番叟や四季ウォーク、石動山史跡を訪ねる会、不動滝の滝開きなどに協力・支援事業をしている。また、(*1) ななお・なかのとDMOの活動とは別に、観光協会としての事業を推進しているところである。事業内容についても、独自性のある活動をしてほしいとの意見を伝えます。

(*1) ななお・なかのとDMO：七尾市・中能登町エリアの未来志向の広域観光地域づくり事業

採決の結果

提出された議案に対して、議員が賛成・反対の意思をあらわして、議案成立の可否が決定します。



9月定例会議

全議員が賛成して可決された主な議案

(議長は、採決には加わりません。)

結果	町長提出議案
可決	<p>議案第15号 中能登町立保育園給食費徴収条例の制定について</p> <p>内容▶ 令和元年5月31日に公布された子ども・子育て支援法に伴い幼児教育・保育の無償化が図られたが、副食費については無償化の対象とならないことから、副食費を徴収するための条例を制定するもの。</p>
可決	<p>議案第23号 令和元年度中能登町一般会計補正予算</p> <p>内容▶ プレミアム付商品券事業で、対象者への申請案内及び引換券送付の郵便料、商品券販売及び引換業務の委託料3,824千円を増額するもの。中能登町企業誘致条例に基づき町内の2業者に対し補助するもので14,300千円を計上するもの。</p>
結果	議会提出議案
可決	議員派遣の件

7月随時会議

開催日 7月31日

全議員が賛成して可決された主な議案

(議長は、採決には加わりません。)

結果	町長提出議案
可決	<p>議案第9号 一般会計補正予算</p> <p>内容▶ 農道の冠水対策工事、排水路の浚渫工事などの工事請負費として49,150千円を増額補正するもの。</p>

本会議で賛否が分かれた議案

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 退：退席 除：除斥

結果可否	議案名	議員名										
		古玉いづみ	尾田良一	土本稔	林真弥	笹川広美	南昭榮	諏訪良一	甲部昭夫	坂井幸雄	作間七郎	
町長提出議案												
可決	<p>議案第10号 工事請負契約の締結について (令和元年度社会資本整備総合交付金事業鹿島中部処理区マンホールポンプ場整備工事)</p> <p>内容▶ 契約の金額 4千481万7千960円 契約の相手方 北菱電興株式会社</p>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
可決	<p>議案第11号 工事請負契約の締結について (令和元年度中能登町菅川田住宅建替工事)</p> <p>内容▶ 契約の金額 1億1千万円 契約の相手方 株式会社 杉本工務店</p>	×	○	○	×	○	○	○	○	○	×	

一般会計補正予算は1億2千984万3千円を増額補正して総額104億9千160万2千円になりました

Q 副食費助成金は何名分か。

保育園運営費

A 町立以外の保育園、私立の認定こども園及び町外へ通園している園児約25名分のもの。
(担当課：住民福祉課)

保育園 副食費
助成金
67万5千円
増額補正

古墳公園とりや

遊具の新たな設置の計画は

Q 6月の専決処分で遊具の点検費用が減額され、修理できない遊具については撤去することだったが、遊具の新たな設置計画はあるのか。

A 遊具の点検において修理できないものは撤去した。その後の新設については、要望があれば新年度予算で対応していきたい。
(担当課：生涯学習課)



Q 増額理由を聞く。

下水道事業会計

A 汚泥肥料（バイオの恵み）100t分の処分費用となっており、ゴルフ場などの大口利用者に働きかけている。今後は少量の利用者やお年寄り、車のない方を中心に少しでも利用していただけるよう配送対応もしていきたい。
(担当課：上下水道課)

処理場費
350万円
増額補正

初の「夏休み親子議場見学会」を開催！ 8月18日午前10時

(参加：小学生20人、中学生2人、高校生1人、保護者16人)



クイズラリーで、会議室、議長室、傍聴席などを廻り、最後は議場で議員に質問。お父さん、お母さんからも貴重なご意見を頂きました。楽しかった！また参加したい！議員になってみたい！などのうれしい感想。議会を身近に感じてもらえる見学会となりました。

議会報告会・春木地区

8月24日 午後7時 50人参加
春木会館



質問 拡大する放置竹林を県の環境税とリンクし、計画的に駆除できないか

議員回答 いしかわ森林環境基金事業を活用し、毎年継続的な要望により、計画的な除去は可能と考えられる。町や森林組合へ相談頂きたい。

質問 公共性の高いボランティアに従事する高齢者は、介護保険料を減額する公平な仕組みを考えてほしい

議員回答 特産品や商品券等と交換できる「ボランティアポイント制度」が全国的に広がり、当町も導入に向けた検討に入っている。保険料減額は難しいが、ポイント制度の実施を後押ししていく。

■その他の主な質問

- ・ 消雪装置の設置・鳥屋中学校校舎の再利用・中能登朝市の対処
- ・ 空き家対策・町祭について・図書館の充実・大型温泉施設の設置
- ・ 里山に核シェルター配備

今後も各地区で、町民の皆さんとの意見交換を行ないたいと考えております。皆さまと共に安心の町づくりを目指して参ります！





7名の議員が登壇し質問する

問 子育て支援策を綿密に検証せよ

答 検証を行い見直しも含めて検討する



林 真弥 議員

【林】子育て支援策について、3点で伺う。①目的と本質 ②制度の妥当性 ③検証の必要性と今後の考え方

【町長】①出生率向上に資すること、若者への魅力を目的とし、子育ての喜びも伝えていきたい。②当町の制度は他市町と比較しても優遇されており、保護者への負担軽減や定住を促すことを狙いとしている。

【教育長】③生徒児童数は減少傾向にあるが、能登地区では減少率が一番少ない状況だ。しかし、今までの支援策の効果を検証し、今後必要な支援は何かを考えなければならない時期にきている。子供たちが大人になった時も、住み続けても

らせるための支援策を検討したい。

【林】高校卒業時に地元を離れる子供たちは多いが、将来、地元に貢献したいと考える若者も多数いる。志を抱き、一旦は町を離れる若者に光を当てることで、できれば、未来の大きな力になってくれるのではないかと。町の独自性と、持続性高い町へ導くための新たな子育て支援策を、皆さんの思いやニーズを十分に把握した上で構築されることを強く求める。

その他の質問▼防災士連絡協議会の活動と町との連携



問 庁舎統合に関して民意の反映を!

答 分庁舎で現サービス継続を優先する



古玉いづみ 議員

【古玉】合併から15年目を迎え、庁舎統合建設特別委員会も25回開催されている。現在は議会側からの統合庁舎案答申への回答なきまま、執行部側より旧鹿西中と鳥屋庁舎の分庁舎案が提案されている。町の行政改革大綱などには分庁舎の災害時対応の問題点もあげている。合併当初に統合庁舎建設の合意はあったのか。そうした中で分庁舎方式へと転換した責任はあるとお考えか。

【町長】平成16年に調印した合併協定書には本庁舎の建設への協議が組み込まれており、統合庁舎建設は合併前より望まれていたことである。しかし5年の議論でも結論が出ず社会情勢の変化とともに町への財政負担が増えると考え分庁舎案が最適だと判断した。

【町長】平成16年に調印した合併協定書には本庁舎の建設への協議が組み込まれており、統合庁舎建設は合併前より望まれていたことである。しかし5年の議論でも結論が出ず社会情勢の変化とともに町への財政負担が増えると考え分庁舎案が最適だと判断した。

【古玉】町民にとってアクセスしやすい場所で産業活性化・町民生活を支える司令塔となる庁舎の建設を。越路区長会からもそうした要望が出ているが民意を反映すべく住民投票をしてはどうか。

【町長】住民投票をする気は無い。今進めている分庁舎案の理解を得ていく。



町の商業の中心地にあるラピア鹿島

問 地籍調査の現況と今後を問う

答 平坦地を優先により効率化を図る



甲部 昭夫 議員

ラブルはあるが、個人間トラブルは客観的に助言している。各地区に地籍推進員を委嘱し、円滑な事業実施に貢献されている。

〔甲部〕 今後の計画を伺う。

〔農林課長〕 平坦地の調査をより効果的に進める。

〔甲部〕 地籍調査の早期完了を目指すし、職員の増員を求める。

〔町長〕 増員には限界があり、より効率のかつ迅速な進捗を図る。



地籍調査の様子

〔町長〕 ①平成30年度時点で18.97平方kmが完了し、進捗率は21.2%。②町の利点として、公共事業の計画、施行が容易になる、災害復旧の円滑化が可能。個人の利点として、境界紛争の防止、固定資産税不公平是正、円滑な相続、所有者不明土地の明確化が挙げられる。

〔農林課長〕 ③平坦地の進捗率向上を目標に事業を進めたい。④法務局の地図との違いによるト

問 安全運転支援装置の補助の創設を

答 他市町の動向を注視して検討する



坂井 幸雄 議員

方々にとって、運転免許証返納は大きな決断となる。近年の返納者の人数を尋ねる。

〔坂井〕 安全安心な町づくりの一环として、安全運転支援装置購入の補助制度創設の検討を求める。

〔町長〕 事故防止と抑制に、安全運転支援装置は有効な手段だと考える。衝突被害軽減ブレーキ、ペダル踏み間違い時加速抑制装置、車線維持支援制御装置等があり、近年これらが標準装備された自動車が販売され、全国の自治体には、自動車購入に対する補助制度やこれらの装置を自家用車に後付けするための補助制度を設けている自治体もある。当町においても、他市町の動向を見ながら制度導入について検討したい。

〔坂井〕 当町でも免許証自主返納支援制度はあるが、不便を感じる

〔総務課長〕 自主返納支援内容は、町共通商品券1万2千円分とコミュニティバスの回数券55回分を交付している。返納実績としては、平成26年48人、27年46人、28年55人、29年67人、30年65人となっている。

その他質問▼関東なかのと会設立▼マイナンバーカード推進



安全運転支援装置が装備された自動車

問 豚コレラ感染予防に万全を

答 危機感を持って対応する



諏訪 良一 議員

【諏訪】 町内には、豚コレラの感染が今のところ確認されてはいないようですが、イノシシの習性からして何時やってくるとも分からない「代物」です。養豚場へのウイルスの侵入防止には、万全の対策を講じる事が肝要と思われる。

- ① 町内における豚コレラ検出状況
- ② 経口ワクチンの埋設状況
- ③ 町の支援策等について

【町長】 ① 現在のところ中能登町においては、豚コレラは検出されてはいない。

【農林課長】 ② 経口ワクチンを9月20日に県の指導の下、農林課の職員等で町内全域に40ヶ所埋設する予定である。

【町長】 ③ 町では、有害鳥獣対策



経口ワクチンの埋設作業

に係る電気柵などの防護柵の購入費を補助する制度を設けているが、現行の補助制度では、豚コレラ対策に十分な対応が出来ないため、新たに豚コレラ侵入防止柵の設置費用の補助制度を設けて町として豚コレラ対策への支援に取り組み、最終的に侵入防止柵の設置費用から、国及び県からの補助金を差し引いた額の半分を助成したいと考えている。

その他の質問▼放置竹林の除去対策について

問 児童館の特性活かせ!

答 地域密着を目指したい



笹川 広美 議員

【笹川】 当町の児童館運営事業はとりや、かしま、ろくせい、の3児童館と「パルみおやキッズコーナー」で行われている。「とりや児童館」は、「とりや放課後児童クラブ」との併設運営から移設を検討で「パルみおやキッズコーナー」は、来年3月で閉鎖予定と聞く。以上などから、①当町の児童館のあり方②子どもの居場所づくりを支援する施策③地域や保護者との子育てミーティング等への取り組みを伺う。

【町長】 ① 児童厚生員の資質向上を図る研修会の実施、放課後子ども教室の開催等、多くの子どもが利用する魅力ある児童館を目指す。② 積極的に子ども居場所づくりに取り組み地域の支援については、前向きに検討する。③ 地域の実態にあった子育て支援の実現

に有効だと考える。

【笹川】 今を生きる子ども、子育て家庭にとって、児童館は重要な拠点となり得る。こうした認識のもとで、地域、保護者、そして子ども達と共に取り組んで頂きたい。

その他の質問▼防災減災対策の強化



ろくせい児童館 (能登部上地内)



かしま児童館 (二宮地内)



とりや児童館 (一青地内)

問 実行力プランを提示し議論すべき

答 協議を重ね理解を深める



土本 稔 議員

【土本】 保育園の民営化について町長の考えを伺う。

【町長】 今年度8月26日に検討委員会を開催し、保育園の現状や民営化のメリットなどの説明を行い貴重な意見を伺った。この委員会のご意見や検討結果を踏まえ、町の財政状況も考慮し、将来の子育て環境がより良いものとなるよう検討していく。

【土本】 委員会には民営化の実行プランが必要である。民営化について具体的な手順や期間、利用者への対応など白紙の状態では進まない。実行プランを作らず、単にイエス、ノーを問うほど無責任なこととはない。委員会には、民営化への実行プランを提示し議論することで活発な意見が出やすいと考える。



【住民福祉課長】 今後、町の意見も提示しながら委員の方々と協議を重ね理解を得るよう努力していく。

その他の質問▼働き方改革について▼廃棄物処理の手数料について

議会全体行政視察研修

議員9人 局長1人 参加

令和元年10月1日から3日

視察先 北海道芽室町議会、北海道池田町議会

議会活性化の取り組み

議会が果たす役割である、情報共有、住民参加、議会機能強化の3つの柱を観点として議会改革度調査ランキングで5年連続1位の芽室町議会は多様な世代の住民参加の促進を揚げ、地域の社会教育を進める「未来フォーラム」を開催するなど、議会基本条例を検証し、PDCAサイクルを実践、ICT活用で改革を促進している。芽室町議会を視察することで当議会活性化の取り組みの参考となり、より良い町づくりの推進に結びつくものと考えている。

池田町においては災害時議員行動マニュアルを設定し町長部局長と連携し、被災住民の救援と被害復旧のために非常事態に即応した役割を果たすことを求めている。当町においても緊急に災害時議員行動マニュアルを設置しなければならないと強く感じた。



芽室町議会 議場で説明を受ける



柔道整復師の施術でも、子ども医療費窓口無料へ

令和元年10月診療分より18歳以下の子どもが柔道整復師による施術を接骨院などで受けた場合、保険適用分の施術が窓口で無料となります。

接骨院等の窓口で、【中能登町子ども医療費受給資格者証】と【健康保険証】を提示してください。窓口無料化に対応していない場合もありますので、事前にご確認ください。

なお、学校・保育園等でのケガの場合は日本スポーツ振興センターの災害救済給付制度が優先されるため、いったん窓口で負担いただいた後、領収書を学校・保育園等に提出していただきます。

幼児教育・保育無償化スタート！

令和元年10月1日より、幼稚園、保育園、認定こども園等を利用する3歳から5歳までの全ての子どもたち、0歳から2歳までの住民税非課税世帯の子供、また保育園等を利用する最年長の子どもを第1子とカウントして、0歳から2歳までの第2子は半額、第3子以降は保育料が無償となります。無償化に伴い給食の副食費は4500円の実費となりますが、国の無償化条件にさらに町独自の助成が加わるため、今までよりさらに保護者の負担が減ることとなります。より子育てのしやすい町づくりに取り組みます！

「いきいき百歳体操」体験！

健康寿命の延伸のための取り組みである「いきいき百歳体操」に老人福祉センターゆうゆうで、杉本町長と共に議会で体験させていただきました。

体操は椅子に座ったまま手足におもりをつけてDVDを見ながら行います。筋力がアップし介護予防になるだけでなく、仲間との交流により認知症予防にもなるそうです。現在、毎週町内24ヶ所で開催され、多くの方々が健康づくりに取り組んでいます。健康長寿の町を目指します！



鳥屋小学校



鹿西小学校

教育の町・中能登！

9・10月に町内3小学校で公開授業研究会が開催されました。残念ながら公務と日程が重なった鹿島小学校は視察できませんでしたが、鳥屋・鹿西小学校を視察しました。鹿西小では「進んで考え課題を解決しようとする児童の育成」と題して算数の授業が行われ、鳥屋小では、「関わり合い、学びを深め合う児童をめざして」という主題で国語の研究会が行われました。どちらの学校でもペア・グループワークが多々あり多くの児童の意見・発言を積極的に引き出していました。教師の説明が精選され、より子どもが主役の授業となっていました。

なお、鹿島小では「主体的に考え、学び合い、深める児童の育成」という主題で国語と算数の研究会が行われました。機会があれば視察に伺いたいと思います。

総務建設常任委員会

「農業用ため池の管理及び保全に関する法律」 が本年の4月に制定された

1. 目的

農業用ため池を適正に管理及び保全することにより

- ①農業用水の供給機能を確保
- ②堤の決壊による被害防止

2. 責務

- ①町→農業用ため池の管理状況の把握、周辺住民の避難対策の策定
- ②所有・管理者→区長または生産組合長は農業用ため池に関する必要な届出を行う

3. 法制化による具体的な役割及び手続

①届出とその内容

区長または生産組合長は、農業用ため池の設置や廃止の際は、県知事に届出が必要
(名称、所在地、所有者・管理者、管理の権限・ため池の堤高、
堤頂長及び総貯水量等を記載する)

②届出の手続き

区長または生産組合長→中能登町→石川県へ提出



ため池の点検



町は、本年11月をめどに各地の「ため池の届出」を集約し、石川県へ提出予定(農林課)

総務建設常任委員会視察研修

委員6人 局員1人 参加

京都府与謝野町議会 8月28日から29日

地場産業・地域ブランド振興について

基幹産業：農業（稲作）と織物業（丹後ちりめん）

15年前頃までは、織物工場が1000軒で1000万反を生産していたが、現在では400軒で14万反の生産にまで激減している。

課題：絹織物（丹後ちりめん）市場の縮小に伴い織物業が衰退すると共に人口減少に陥り消滅可能性都市にランクされている。

地場産業・地域ブランドの振興は「一朝一夕」に所期の成果が上がる程の容易な事業でないと思われるが、町の大きな課題解決に向けて町民が一丸となって新しい事業にチャレンジしている姿勢に感銘を受けた。

町の基幹産業の衰退や人工減少に歯止めがかからない、若者が定着しない等、中能登町と全く類似した課題を抱えている。

与謝野町の取り組みを参考に、次世代に向けた「地場産業・地域ブランドの振興」にチャレンジすべきであろうと思われる。



丹後ちりめん歴史館
江戸時代中期から伝承されてきた
絹織物の織工程などを見学



Q1 社会福祉協議会の仕事内容と職員数は？

A ①法人事務局

- ★各地区での福祉座談会の開催
- ★福祉のつどい開催や社協だより発行
- ★ボランティア、老人クラブ、民生児童委員など各種団体への支援や生活支援
- ★町からの受託事業として、地域サロン支援と子ども学習支援
- ★高齢者やその支援者に役立つ情報をホームページで随時発信
- ★「福祉の町」の旗振り役として5名が在職



②介護サービス事業所

- ★訪問介護、通所介護、居宅介護支援の3事業所の運営
- ★来年4月には、地域密着型認知症対応型通所介護事業所を開業予定
- ★事業所はいずれも能登部上地区にあり、介護職員など35名が就業



③温浴施設の運営

- ★ゆうゆう、天平の里、健康ハウス憩を運営
- ★3施設全体で9名の職員が就業



Q2 中能登町社会福祉協議会の運営予算は？

- A
- ★今年度の社会福祉協議会全体での予算は、22,124万円となっている
 - ★法人事務局は2,842万円で、町補助金75%、事業受託金18%、その他7%
 - ★介護3事業所の収支予算は12,615万円で、自主運営をしている
 - ★温浴施設は6,667万円で、受託金46.6%、補助金23.6%、利用料23.6%、その他0.2%

Q3 今後、中能登町社会福祉協議会が特に注力したい事業は？

- A
- ★住民同士の繋がりや支え合い意識の高揚を図りたいと考えています。更なる少子高齢化が予測されるなか、安全安心な生活のためには公的福祉サービスだけでは賄いきれなくなる状況を、地域力により、少しでも解消していきたいと考えています。それには、地道に地域に足を運び住民意識を高めることが重要です。認知症予防や孤独死防止に地域力は絶対に欠かせない大切な財産だと考えています。

議会活動報告 8月から10月までの議会活動

○…出席 ×…欠席 △…早退・遅刻
 -…委員外 公…公務
 オ…議長が各委員会にオブザーバーで出席するとき



さまざまな会議の議員の出欠状況をお知らせします。

月 日	会議名	議員名	古玉 いづみ	尾田 良一	土本 稔	林 真弥	笹川 広美	南 昭榮	諏訪 良一	宮下 為幸	甲部 昭夫	坂井 幸雄	作間 七郎
8月6日	議会広報特別委員会		○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	-
8月13日	教育民生常任委員会		○	○	-	○	-	○	-	オ	○	-	-
8月13日	総務建設常任委員会		-	-	○	-	○	-	○	○	-	○	○
8月26日	議会運営委員会		-	-	-	○	○	-	-	オ	○	○	○
8月28日~29日	総務建設常任委員会視察研修		-	-	○	-	○	-	○	○	-	○	○
8月30日	全員協議会		○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○
9月5日	9月定例会議 初日		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月6日	教育民生常任委員会		×	○	-	○	-	○	-	オ	○	-	-
9月6日	総務建設常任委員会		-	-	○	-	○	-	○	○	-	○	○
9月9日	予算決算常任委員会		○	○	○	○	○	○	○	オ	○	○	○
9月10日	予算決算常任委員会		○	○	○	○	○	○	○	オ	○	○	○
9月11日	予算決算常任委員会		○	○	○	○	○	○	○	オ	○	○	○
9月12日	予算決算常任委員会		○	○	○	○	○	○	○	オ	○	○	○
9月17日	予算決算常任委員会		○	○	○	○	○	○	○	オ	○	○	○
9月18日	9月定例会議 一般質問		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月24日	議会運営委員会		-	-	-	○	○	-	-	オ	○	○	○
9月24日	全員協議会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月24日	9月定例会議 最終日		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月30日	議会行革・活性化特別委員会		○	○	○	○	○	○	○	オ	○	○	○
9月30日	議会広報特別委員会		○	○	○	○	○	-	○	オ	-	-	-
10月1日~3日	議会全体行政視察研修		○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○
10月15日	教育民生常任委員会		○	○	-	○	-	○	-	オ	○	-	-
10月15日	総務建設常任委員会		-	-	○	-	○	-	○	○	-	○	○
10月17日	議会運営委員会		-	-	-	○	○	-	-	-	○	○	○
10月31日	全員協議会		○	○	○	○	○	×	公	○	○	○	○
10月31日	10月随時会議		○	○	○	○	○	×	公	○	○	○	○

第13回紀宝みなとフェスティバル

10月20日

参加議員：宮下議長 作間議員 土本議員

10月20日に中能登町と姉妹町である三重県紀宝町において、第13回紀宝みなとフェスティバルが開催されました。

会場内の中能登町物産販売コーナーは、多くの人々でにぎわっていました。また、郷土芸能ステージでは、中能登町の鹿島日舞会と笹乃会による民謡舞踊が披露され、紀宝町の各種団体との交流を行いました。
 (報告者 土本 稔)



議会からのお知らせ

12月定例会議の日程

- 12月5日(木) 10:00 定例会議 開会
〔議案上程・提案理由説明・質疑など〕
- 12月6日(金) 10:00 教育民生常任委員会
13:30 総務建設常任委員会
- 12月9日(月) 10:00 予算決算常任委員会
- 12月13日(金) 10:00 一般質問
- 12月16日(月) 10:00 一般質問 (予備日)
- 12月18日(水) 10:00 各委員会
(予算決算・総務建設・教育民生)
13:30 全員協議会
15:00 定例会議 最終日
〔委員長報告・質疑・討論・採決〕

ぜひ傍聴にお越しください。定例会議はケーブルテレビ「なかのとチャンネル」で中継します。



ようこそ中能登町議会へ

10月24日に、中能登町へ他市町議会から視察に訪れていただきました。

★福島県磐梯町議会

- 農業振興策の取り組み事業と支援について
 - ・ブランド化について
 - ・六次化について
 - ・担い手対策について



中能登町の農業振興策の取り組み事業と支援について説明

石川北部アール・ディ・エフ 広域処理組合議会からの報告

令和元年8月20日(火)

報告者 坂井幸雄

平成30年度組合一般会計歳入歳出決算認定議案

歳入 11億7,464万4,548円

歳出 11億2,260万4,694円

差引額 5,203万9,854円 決算剰余となる。

—主な歳出内容—

- ・派遣職員負担金において、再任用職員及び嘱託職員を配置した
- ・暖冬による除雪費用
- ・飛灰等の運搬処分の減額



議会モニター 募集中!

議会は、町民からの議会運営などに関する要望、ご意見をいただき、議会運営に反映したいと考えています。

どんな人がモニターになれるの?

- ①年齢満18歳以上の町民
- ②町議会の仕組みや運営に関心がある方
- ③町政や地域社会の発展に関心がある方

モニターのお仕事って?

おもに下記の①から③について意見などを文書で提出していただきます。また、年1回以上、議会との意見交換会があります。

- ①会議を傍聴した意見・感想
- ②議会だより「とびら」の意見・感想
- ③町ホームページの議会内容の意見・感想

会議の傍聴は、年間会議の月1回以上の傍聴をお願いします。

モニターの期間はどれくらい?

モニターの任期は2年です。
まずは議会事務局までご連絡を下さい。
(TEL 74-2808)

ありがとうございます

家族の声

良川にお住まいの
清水さんご一家

中能登町の良いところは？

まずは子育て支援での出産祝金制度。一人目から手厚い交付となっている。更には18歳までの医療費無料、そして、高齢者福祉などに多くの支援策があるところ。

教育機関についての感想

保育園ではふれあいと命の大切さ、小学校では自ら学ぶ意欲と感謝と感動、中学校では質実剛健及び文武両道の重要性を学んでいる。保育園・学校とも、ふるさとに愛着と誇りを持ち、

夢の実現に向けて未来を切り拓く力について学んでいると感じる。

3兄弟の良さは？

三人集まれば社会ができると言うが、日々の生活のなか、色々なパターンでのぶつかり合いや助け合いが生まれた。一人が寝ても二人で遊べる。一人が風邪をひいたときは二人で心配でき、心配事は半分になる。三兄弟の幸せは、三倍楽しめて心配事は三分の一になる。

文化財及び観光地について

足を向けてない方がおられますが、一度訪ねてみては！町の歴史にも興味が沸きます。子どもたちと訪ねたら案外面白いですよ。

中能登町の未来は？

平成17年3月に生まれた中能登町ですが、誕生時とは大きく環境が変わり、令和時代では少子高齢化社会が超少子超高齢化社会へと凄まじいスピードで進むのではないかと。

新たな時代を迎え他力本願ではなく、町民が一丸となり、町民の力で前進しなければならない。令和はそんな時代になると感じています。



募集中!

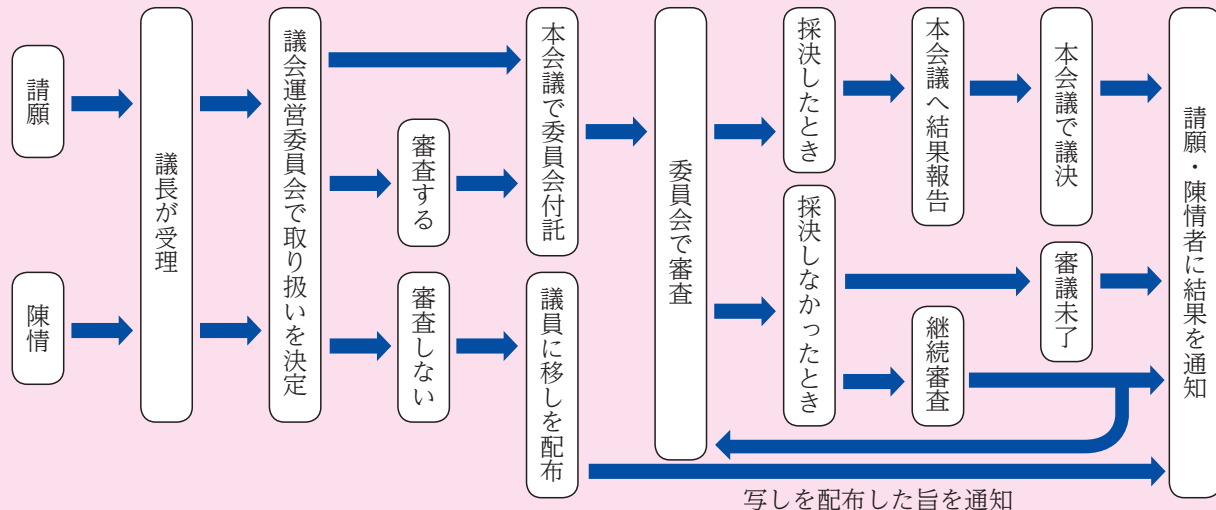


議会をよりわかりやすくPart 4

請願・陳情って何？

町政について要望等があるときは、どなたでも町議会に対し請願・陳情を行うことができます。

請願：議員の紹介が必要 陳情：議員の紹介が不要



※過去一年間に請願2件、陳情1件が議会で提出され、請願、陳情1件ずつ採択されました。
請願・陳情が採択されても、その実現について法的拘束力はありませんが、町議会は最善の努力をすべき政治的・道義的責任を負うことになります。

編集後記

毎回、議会広報紙「とびら」をお読みいただきありがとうございます。10月の初旬、議会活性化に積極的に取り組んでいる北海道2町へ視察に行き、如何に町民の方々の意識を議会に向けるか、で苦心されている様を垣間見てその困難さを再認識した次第でした。編集委員一同、この視察を糧として「とびら」の編集に生かしたいと考えております。

議会広報委員 尾田 良一

【議会広報特別委員会】

委員長 林 真弥
副委員長 古玉いづみ
委員 諏訪 良一
尾田 良一
菅川 広美
土本 稔



この印刷物は、E3PAのゴールドプラス基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています
E3PA：環境保護印刷推進協議会